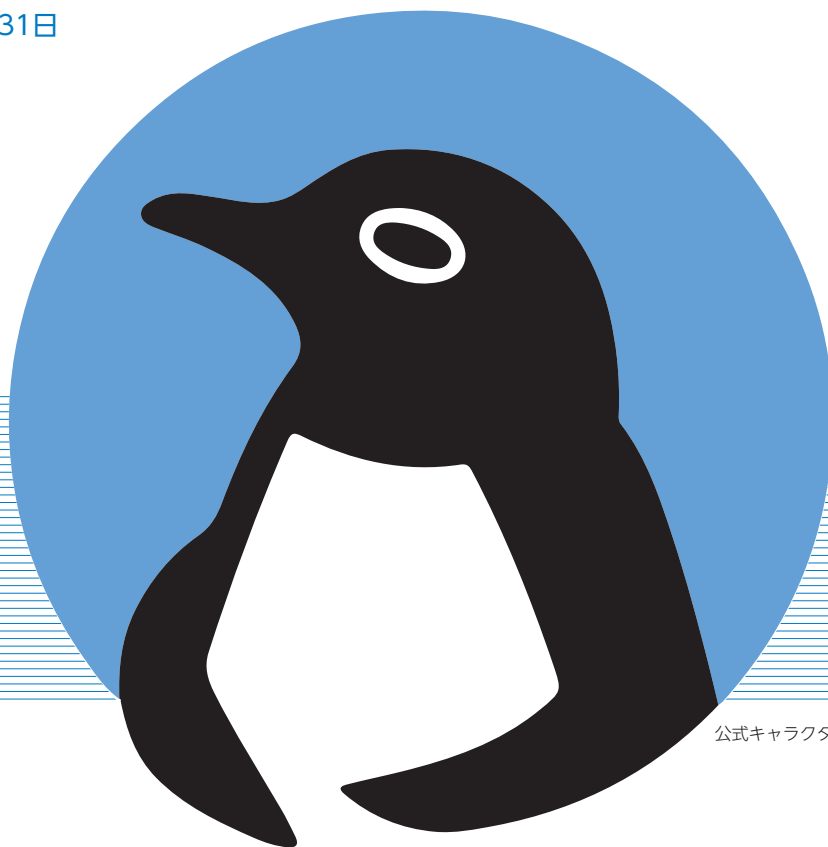


第43期 中間報告書

I-O DATA REPORT

平成29年7月1日 ▶ 平成29年12月31日



公式キャラクター：いおたろ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第43期上半期（平成29年7月1日から平成29年12月31日まで）の営業の概況等についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

代表取締役会長 相野 昭雄

代表取締役社長 濱田 尚則

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により回復基調を辿りました。しかしながら、海外の政治経済情勢の不安定性や地政学リスク等への懸念から、依然として景気の先行きには不透明感が残りました。

当社グループに関係するPCや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場では、スマートデバイスの普及一巡やパソコン関連の不振等から全般に伸び悩みましたが、働き方改革を背景にした企業のIT投資意欲の高まりや、海外で人気を集めるAIスピーカーの登場等を通じて、デジタル社会の新展開を探る動きは活発化し始めました。

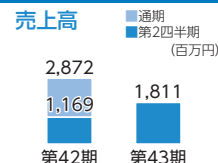
このような状況の下、当社グループは、商品・サービスの拡充を通じて変化する市場のITニーズ獲得に努めるとともに、スマートホーム・IoT等の新市場の創造に努めた結果、前年同期比増収となりました。しかしながら、利益面につきましては、前年同期に比べ為替は円安に推移し原価が上昇した影響から減益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は272億73百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益は11億18百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益は11億36百万円（前年同期比6.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億54百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

部門別 営業の概況

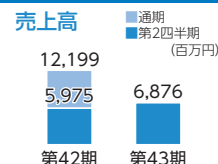
■ メモリ

当部門の売上高は18億11百万円（前年同期比54.8%増）となりました。
前年同期との比較において、メモリモジュール、メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリとともに半導体市況に連動した販売価格の上昇により増収となりました。メモリモジュールの販売は伸び悩みましたが、フラッシュメモリは普及帯モデルを中心に好調に推移しました。



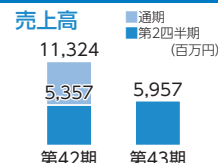
■ ストレージ

当部門の売上高は68億76百万円（前年同期比15.1%増）となりました。
前年同期との比較において、主力のハードディスク、光ディスクドライブとともに販売台数・単価は上向き増収となりました。光ディスクドライブでは、ポータブルブルーレイドライブ、「CDレコ」シリーズ（音楽CDを直接スマートデバイスに取り込み・楽しむことをコンセプトにした独自商品）とともに販売が伸びました。



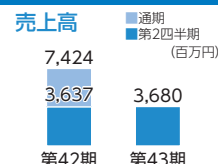
■ 液晶

汎用モデルのトップシェア堅持に励むとともに、4K対応モニターを始めとする大型モデルや高解像度モデルの充実を通じて、PCゲーム用モニターの市場シェア獲得、デジタルサイネージの導入提案やタッチパネル化オプション「てれたっち」を用いた電子黒板化提案等を着実に進めた結果、当部門の売上高は59億57百万円（前年同期比11.2%増）となりました。



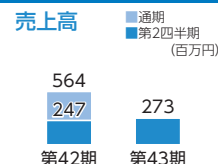
■ 周辺機器

前年同期との比較において、映像関連分野は増収、ネットワーク分野は僅かながら減収となり、当部門の売上高は36億80百万円（前年同期比1.2%増）となりました。
映像関連分野は、秋のゲームショウで注目を集めたゲーム実況動画の制作ユニット「GV-HDREC」や、スマートデバイスによるモバイル視聴スタイルの普及を目指した地デジチューナー「REC-ON」シリーズの拡販が奏功しました。ネットワーク分野は、無線LAN等ネットワーク製品、NASとともに新モデル・サービス開発に努めましたが増収に至りませんでした。



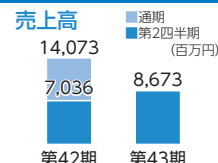
■ 特注製品

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEMや特注製品の販売を主とする当部門は概ね堅調に推移し、売上高は2億73百万円（前年同期比10.2%増）となりました。



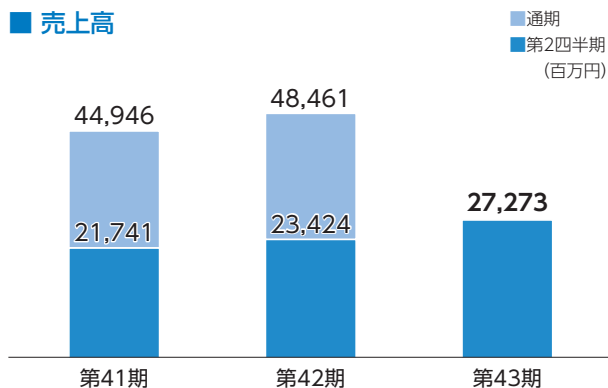
■ 商品およびその他

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、サムスン電子製フラッシュメモリやスマートフォン関連商品、Verbatim®（バーベbatim）ブランド商品等の販売好調により、売上高は86億73百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

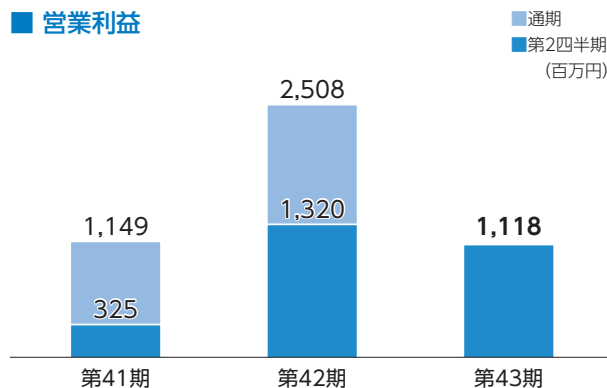


連結決算ハイライト

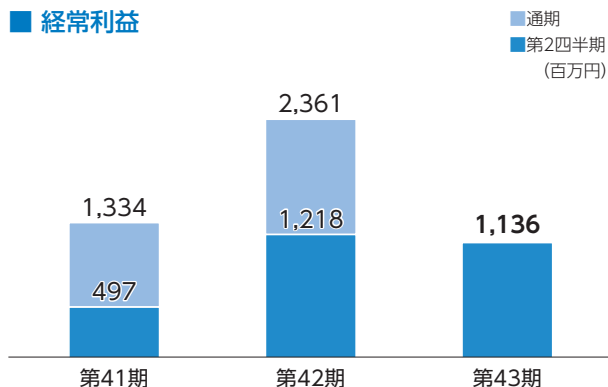
売上高



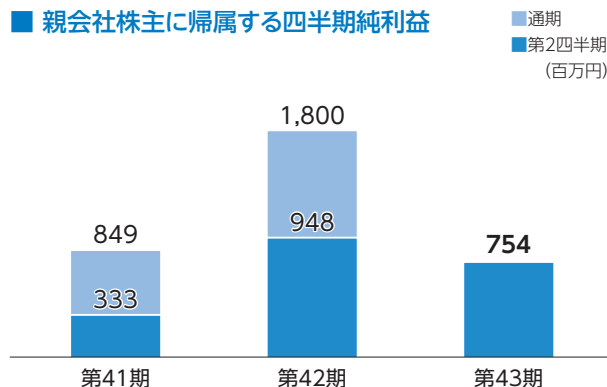
営業利益



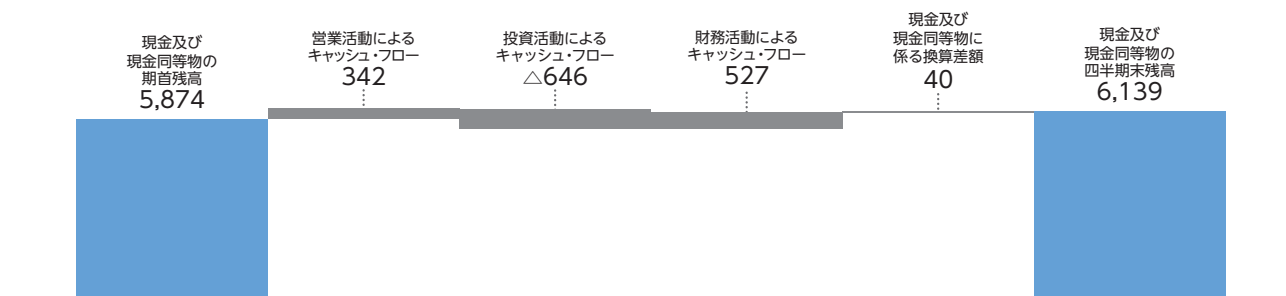
経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円) 平成29年7月1日～平成29年12月31日



第43期 通期業績予想

(平成30年2月13日発表)

売上高

530億円

経常利益

20億円

営業利益

20億円

親会社株主に
帰属する当期純利益

13.5億円

株式情報 (平成29年12月31日現在)

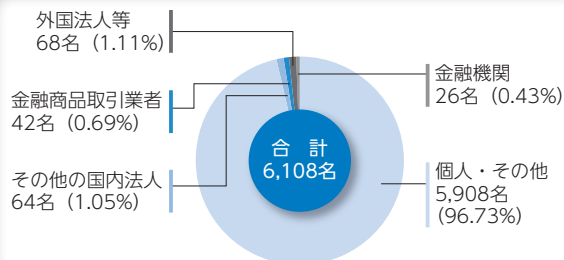
株式の状況

発行可能株式総数	41,000,000株
発行済株式の総数	14,839,349株
1単元の株式の数	100株
株主数	6,108名

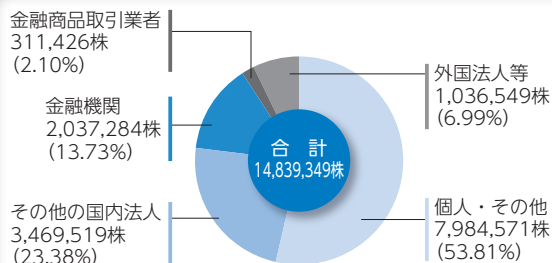
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
細野昭雄	2,514,643	16.94
公益財団法人I-O DATA財団	2,000,000	13.47
株式会社アイ・オー・データ機器	1,207,287	8.13
細野幸江	763,780	5.14
マクセルホールディングス株式会社	740,000	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	414,500	2.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	361,900	2.43

所有者別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況



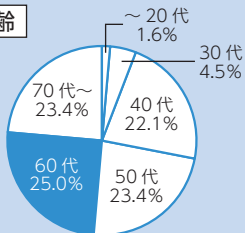
株主様アンケート集計結果

第42期「O DATA REPORT」での「株主様アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただいた回答の集計結果についてご報告申し上げます。

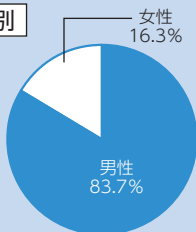
株主の皆様より頂戴した多くの貴重なご意見・ご要望・激励のお言葉を真摯に受け止め、様々な活動の充実・改善に取り組んでまいります。

ご回答いただいた株主様のプロフィール

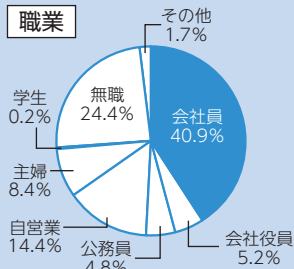
年齢



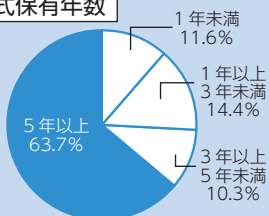
性別



職業



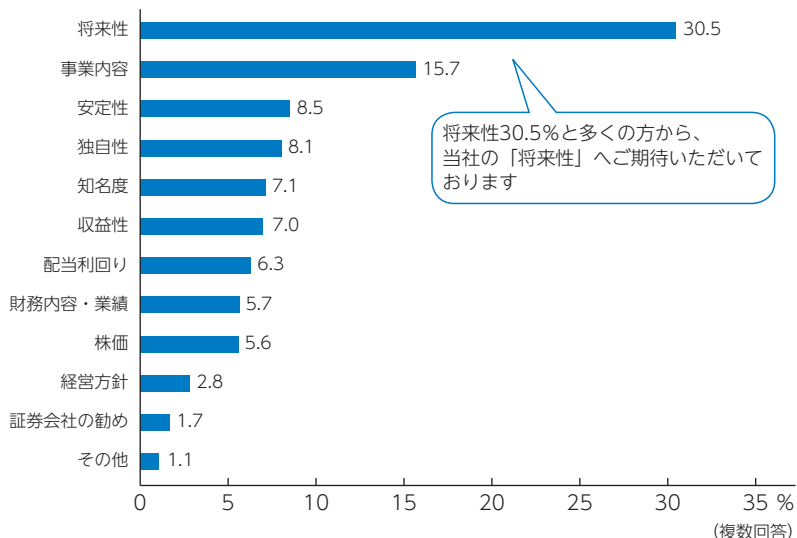
株式保有年数



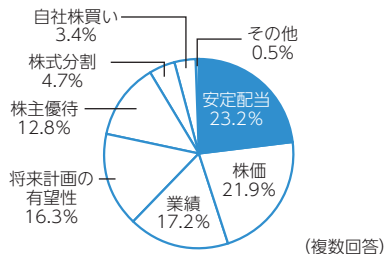
■アンケート実施期間：平成29年9月26日～平成29年10月31日

■回答者数：626通（回答率11.40%）

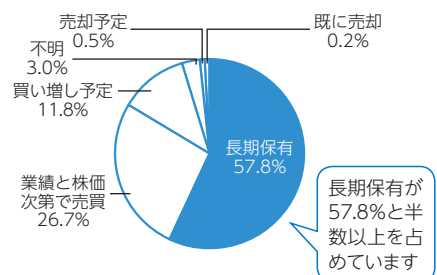
1 当社株式のご購入理由



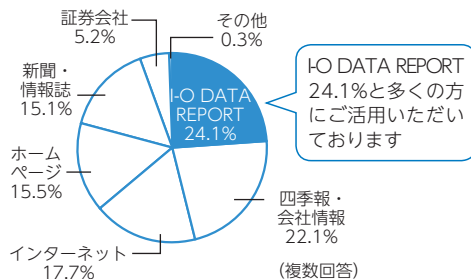
2 保有につながる判断材料



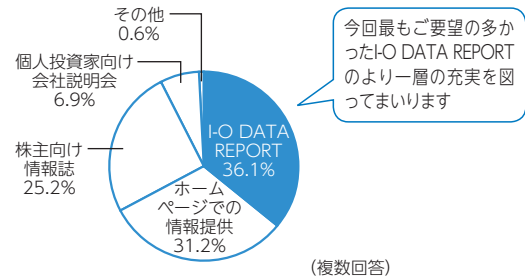
3 当社株式の保有方針



4 当社に関する情報入手手段



5 当社のIR活動について特に充実を希望すること



当社へのご意見・ご要望 (一部抜粋)

- 今後さらに進むIoTに対応する、あっと驚くような製品開発を期待しています。株主としてもユーザとしても楽しみにしています。
- ビジネスニュースで時々御社の商品について紹介しているのを見て、そのアイデアに感心することがある。もっとブランド力を高めて行って欲しい。
- 自宅のPC部品でioさんのものを買いました。金沢の会社ということで、興味を持ちました。今年は配当金が増えて嬉しかったです。
- いろいろな物がネットに接続される時代になり、御社の技術が益々活かされることと思います。ユニークな商品を期待しております。
- Raspberry Piの取り扱いをしているのですね。プログラミングも教科として取り入れられることですし、御社の先見性に期待します。
- 金沢の物作りの会社が好きです。誠実に謙虚に静かに成長して根を張りなくてはならない会社になってください。
- 新社長の言葉通り、未だ見ぬ世界を作るゆめ、スローガンを掲げ進むべし。

■ 会社の概要 (平成29年12月31日現在)

■ 会社概要

商 号 株式会社アイ・オー・データ機器
I-O DATA DEVICE, INC.
設 立 昭和51年1月10日
資 本 金 35億8,807万円
従業員数 453名 (単体)
496名 (連結)

■ 役 員

代表取締役会長	細 野 昭 雄
代表取締役社長	濱 田 尚 則
取 締 役	加 藤 啓 樹
◎取 締 役	新 田 義 廣
◎取 締 役	丸 山 力 勝
常 勤 監 査 役	池 田 雅 一
※監 査 役	松 木 浩 和
※監 査 役	中 村 和 哉
※監 査 役	長 原 悟

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付しております。

■ 当社グループ



事業所

■本 社 (金沢市)
■営業所
東 京 オ フ ィ ス
大 阪 営 業 所
札 幌 営 業 所
仙 台 営 業 所
名 古 屋 営 業 所
広 島 営 業 所
福 岡 営 業 所

関係会社

●子会社
国際艾歐資訊股份有限公司
艾歐資訊香港有限公司
I-O DATA America, Inc.
ITGマーケティング株式会社
●関連会社
I-O & YT Pte. Ltd.
株式会社デジオン
クリエイティブ・メディア株式会社

株 主 メ モ

事 業 年 度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年 6 月30日 期末配当金 毎年 6 月30日 中間配当金 毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
公 告 方 法	電子公告により当社のホームページに 掲載します。(http://www.iodata.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子 公告ができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。
株主名簿管理人 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証 券 コ ー ド	6916

ご注意

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種手続きについて
原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて
三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

株式会社 アイ・オー・データ機器

石川県金沢市桜田町三丁目10番地
URL <http://www.iodata.jp/>



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。